

学級指導（学級活動）における性教育

—— 養護教諭の果たす役割 ——

目 次

I	テーマ設定の理由	123
II	研究仮設	123
III	性教育の基本的な考え方	123
IV	性教育の構想	124
V	本校の性教育の現状と実態	125
	1. 学級指導における性教育	125
	2. 生徒の意識調査結果	125
	3. 父母の意識調査結果	125
VI	性教育実践への構成	126
	1. 実践手順	126
	2. 授業実践への養護教諭の働きかけ	126
VII	学級指導における学年別指導計画	127
VIII	授業実践	128
	1. 単元名	128
	2. 単元目標	128
	3. 学習計画	128
	4. 指導案	128
	(1) 一学年指導案	129
	(2) 二学年指導案	132
	(3) 三学年指導案	135
	5. 感想	139
	(1) 生徒の感想	139
	(2) 教師の感想	141
IX	研究の成果と今後の課題	142

浦添市立港川中学校

屋比久 志津子

学級指導（学級活動）における性教育

—— 養護教諭の果たす役割 ——

浦添市立港川中学校養護教諭 屋比久 志津子

I テーマ設定の理由

学校における性教育は、人間の性に関する指導を通して、「人間尊重」「男女平等」の精神を育成すると共に児童、生徒が現在及び将来の生活において、当面する性の問題に対して適切に対処できるよう、援助、指導していく役割を持っている。しかし、性教育の場合、教師や父母の性に対する意識や価値感が多様でありそのために学校で行う性教育に対しても様々な考え方がある。

例えば、児童生徒の性にかかわる問題行動の現状をとらえて、学校は性導徳を考えるべきで、あるとか、多様な情報環境からの影響にたいして性に関する科学的な知識を教えるべきであるといったとらえ方もある。一方では性教育は家庭で行うべきであり、学校で行う必要はないといった考え方もある。

昨年度、本校において実施した性に関する意識調査の結果、教師や児童生徒の性に関しての認識の足りなさや価値感の違いは「学校における性教育としての教育活動をどのように取り上げていけばよいか」といった課題を提起しているものと考えられる。

人間の性を学ぶということは、人間の生き方、つまり人間であることはどういう事なのかを、学習するものである。つまり、「人間の道徳」という教育理念から、性教育をとらえなおす必要があるものと考えられよう。

今回、養護教諭の立場から、全ての教師と共通理解を深めつつ学級指導を通した性教育(指導)をどのように実践すべきかを考え、本テーマを設定し研究することにした。

II 研究仮説

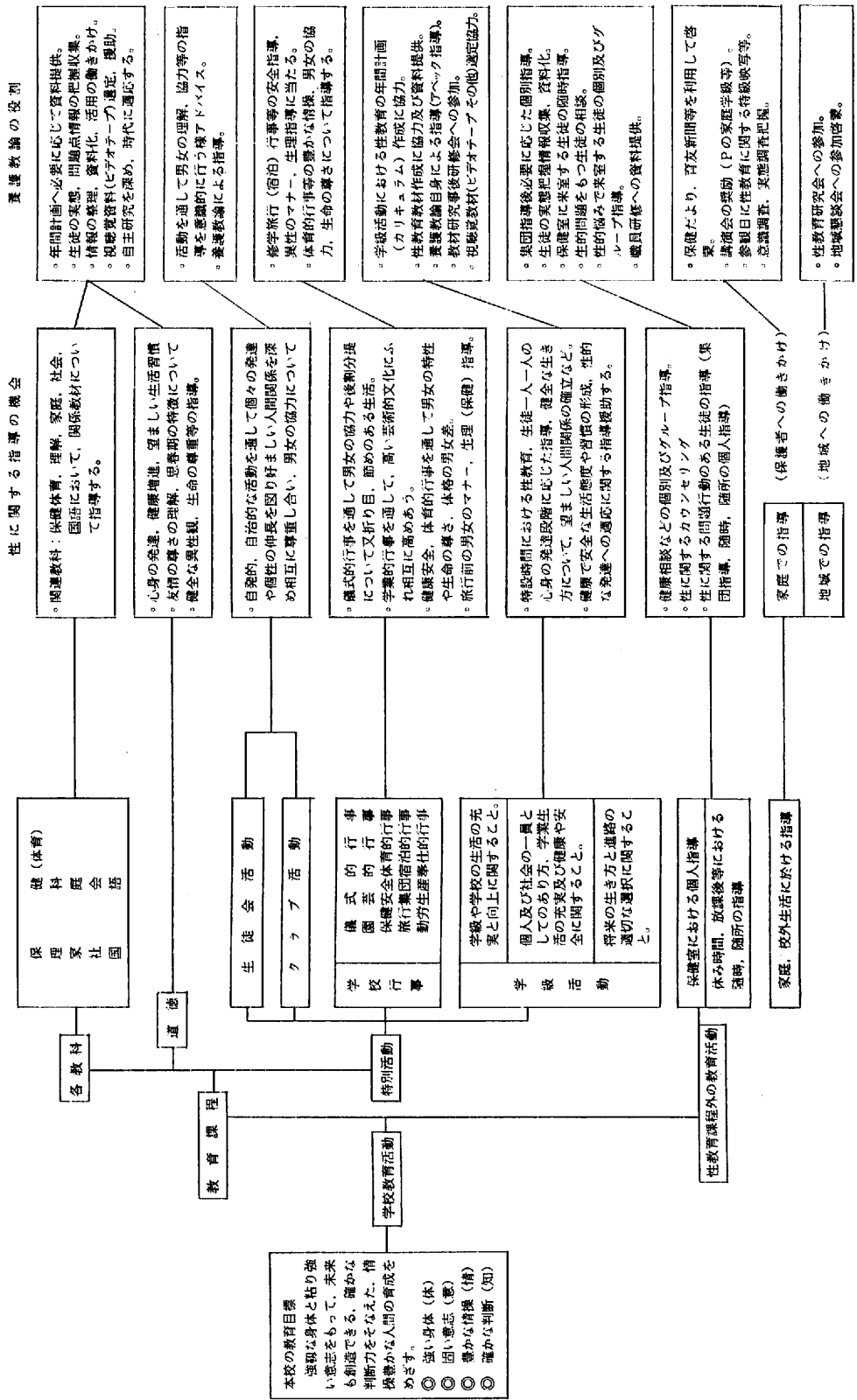
- (1) 性教育の単元を具体的に計画し（資料等も含む）学級担任に提供することによって、教師の性に関する認識を深める機会になるであろう。
- (2) 学級指導を通して、正しい性知識に関する学習を深めることによって、異性を理解する心が育つであろう。

III 性教育に対する基本的な考え方

人間形成をめざす学校教育においては、その教育目標を達成するうえでも、生涯学習の一つの過程としても、当然、性教育を実施しなければならないと思う。とくに、価値感が多様化し、性に関する考え方も複雑化するとともに、性情報の氾濫などの現象がみられる。

学校における性教育は、益々その必要性和重要性が増してきている。しかし、現状は、性教育について「何を教えたらいのかかわからない」という声が聞かれる。このような考え方は、性教育を単に性器やそれにかかわる行動の行為や環境・情報の悪影響から性教育の必要性を望む声もあるが、これも単に「させないように」「止めさせるには」「被害に会わないように」など生活指導的のしつけを考えての性教育の要望が現状である。この意味から「性教育」は大切な教育活動であることを認識しなければならない。

IV 性教育の構想



V 本校の性教育の現状と実態

本校の性教育の取り扱いについては、学級指導の年間指導計画の中に位置づけられている。しかし、実際に学級指導の時間で授業として展開されているかどうか不明瞭である。

1. 本校の学級指導における主題（現行）

	1 年	2 年	3 年
体の面	友人と私の成長 11月（個人，集団）	心と体の成長 6月（保健安全）	十代の心と体 11月（保健安全）
心の面		思春期の心と体 1月（保健安全）	男女交際のあり方 2月（個人，集団）
社会面	男女の協力 9月（学級活動）	男女交際のあり方 10月（保健安全）	

2. 本校生徒の実態（昭和63年11月調査結果）

① 1対1の男女交際について

	男子	女子
良いと思う	75.1	86.8
悪いと思う	5.4	5.8

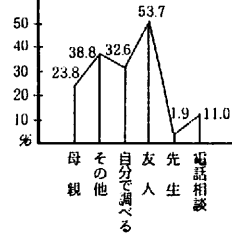
② 異性との交際を誰れと相談しますか。

順位	項目	男	女	計
1	友人と相談する	126	149	275 (73.5)
2	すぐ相手と交際する	22	2	24 (5.9)
3	母親と相談する	6	9	15 (4.0)
9	先生と相談する	0	1	1

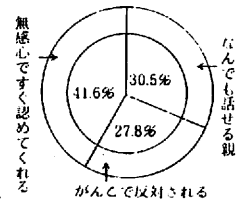
③ 性について知りたいこと

男女交際	29.1
性病について	26.4
男女心理	26.2
男女からだについて	11.5

④ 性の悩みは誰れと相談しますか。



⑤ 親に異性のことを話す場合



- 2の考察
- 生徒は男女とも1対1の交際を良いと考えている。
 - 異性との交際は73.5%が友人と相談している。生徒は母親や教師との相談はほとんどなく、親に話す場合すく反対される27.8%。無関心41.6%。
 - 性の悩みも半数以上が友人と相談し、その他やテレホンの相談が気になる。
 - 性について知りたいは、思春期の心理、主に知りたいようである。

3. 父母の意識調査結果（元年10月）

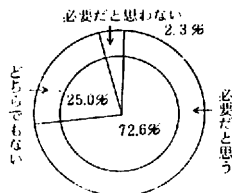
① 家庭でお子さんと性について話したことがありますか。

	男	女	計
はい	(22.1)	(52.4)	(39.1)
いいえ	(77.9)	(47.6)	(60.9)

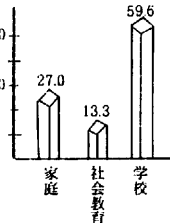
② 話し合いの内容について

1位	女子の生理	(27.7%)
2位	男女の体の違い	(15.3)
3位	異性との交際	(14.9)
4位	生命の大切さ	(13.6)

③ 性教育は必要と思いますか。



④ 性教育を何処でやるのが望ましいと思いますか。



⑤ 学習の機会について

ア) 作ってほしい	(85.2%)
イ) 作ってほしくない	(9.3%)

⑥ お子さんから性の悩みで相談を受けた事がありますか。

ア) はい	3.1%
イ) いいえ	94.1%

⑦ 相談内容

- 生理について（仕事の仕方）
- 出産それによる上の子の経過など
- セックスとは何か
- 結婚の大切さについて
- 男子にもおとり物があるか
- 生理痛や不順について
- 性教育は男女一掃が望ましい。

⑧ お子さんに性について教える場合

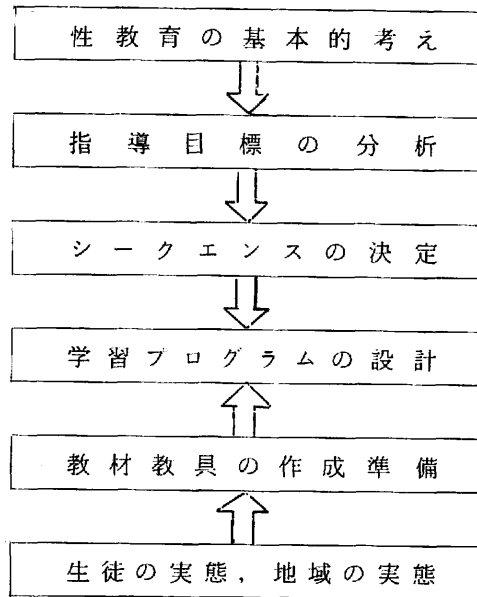
1位	人間の生命	28.4
2位	男女の体の違い	26.2
3位	男女交際の仕方	22.6
4位	妊娠、出産	13.2

3の考察

- ※ 性教育は必要だ72.6%になっているが、家庭での話し合いはほとんどなされない。85%の親が学習の機会を望んでいる。又性教育は学校でやってもらいたいと望んでいる親が多い。

VI 性教育実践への構成

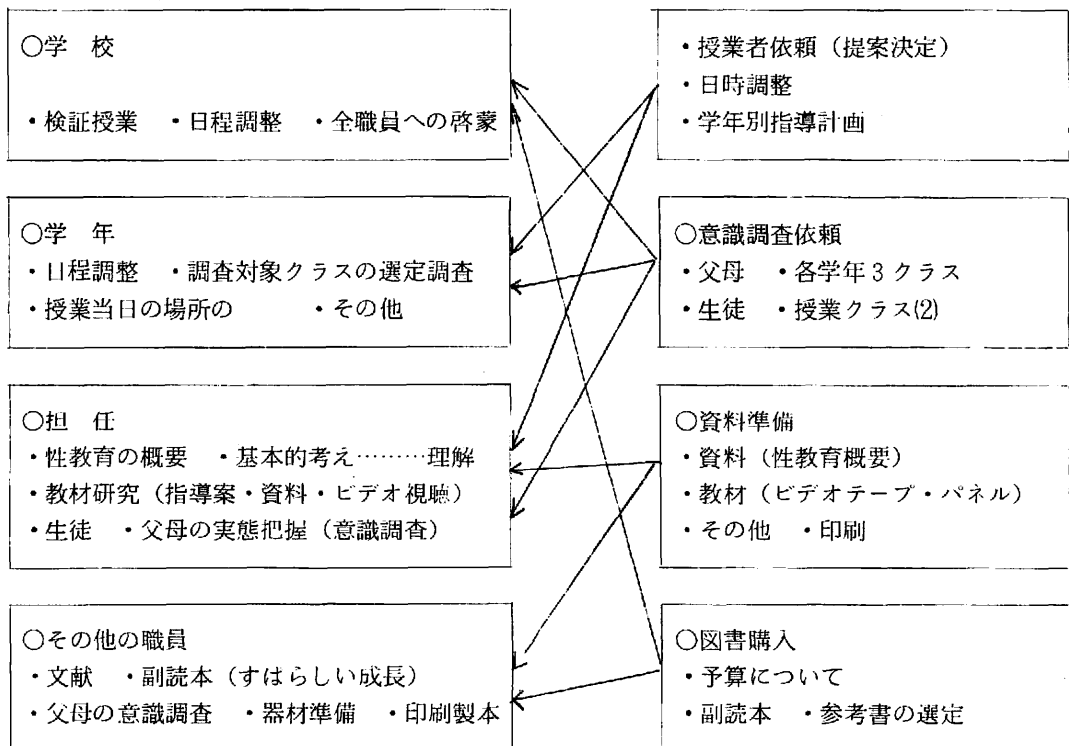
1. 実践手順



2. 授業実践への養護教諭の働きかけ

実践, 場合

働きかけ (養護教諭)



Ⅶ 学級指導における学年別指導計

	主 題 名	指 導 目 標	指 導 内 容	指 導 上 の 留 意 点
一 学 年	異性に対する理解	男女の特性をそれぞれの立場から理解し合う能力と態度を身につけさせる。 ・異性とのかかわり ・異性間の協力の仕方	・男女の特性，個人差 ・いろいろなる異性との関係 ・異性に対する態度やエチケット	・学級の日常における生徒の実態の資料を適切に活用する。 ・自分の考えを素直に述べさせ回りの異性とどのようなかわり方をしていくか。
二 学 年	男女のちがい	第二次性徴の発見を理解させる。 ・男女の体の発達の仕事 ・個人差による発達の仕方 ・性に対する正しい認識の仕方	・男女の二次性徴の違い ・発育の個人差 ・発育上の不安や悩み	・ビデオ教材を活用し学習意欲を高める。 ・男女のからだの違い，発育に個人差のあることを理解させる。
二 学 年	思春期の心	思春期における心身の変化について理解させる。 ・異性に対する心の変化について ・異性に対する相互理解の仕事	・自我の目ざめ ・異性に対する心の働き	・生徒のアンケートや日常生活における実態を活用し性のめざめについて ・思春期の心の大切さについて
二 学 年	異性のからだ	男女の生理について科学的な知識を学習させる。 ・異性間に於ける性の成熟と個人差について	・ホルモンの働き ・男女性器のしくみ（精通，月経） ・生理的機能	・男女の性器の構造としくみについて，ビデオを道 ・個人差の大きい事に気づかせる。
三 学 年	青年期の心	男女の性の欲求や感情の違いについて理解させ健全な生活態度を身につけさせる。 ・人間尊重について理解させる。	・男女の欲求，感情の違い ・青年期の健全な心	・事前調査による，生徒の実態を適切に活用する。 ・お互いの性の尊厳と人間の尊重について ・性の欲求や衝動に対する，理性と自制心の働きの理解させる。
三 学 年	生命の誕生	性と生命について，正しい認識をもたせる。 ・生命の尊重について ・正しい生き方について ・相互理解と協力について	・受性のしくみ ・胎児の成長 ・出産	・ビデオ教材を用い内容の理解を深める。 ・生命の神秘の感動を通して，現在の自分の生命が将来の輝い生命を創造するものであることに気づかせる。

Ⅷ 授業実践

1. 単元名「学級指導における性教育」

2. 単元目標

- ① 男女の特性を、それぞれの立場から理解し望ましい異性とのかかわり方について、認識を深める。
- ② 男女の体の発達、及び個人差について理解させる。
- ③ 人間尊重、生命の大切さについて学習し、望ましい生き方について、能力と態度を身につけさせる。

3. 学習計画

学 年	授 業 者 氏 名	授 業 日 課	主 題 名	学 習 内 容
1 年	知 念 節 子	11月10日 (5校時)	異性に対する理解	・男女の意識 ・異性に対する態度やエチケット
		11月13日 (6校時)	男女の違い	・男女の二次性 ・発育の個人差
2 年	朝 妻 育 子 屋比久 志津子	11月14日 (5校時)	思春期の心	・自我の目覚め ・異性に対する心の働き
		11月21日 (5校時)	異性の体	・ホルモンの働き ・生理的機能
3 年	上 地 多 恵 子	11月16日 (5校時)	青年期の心	・男女の欲望 ・青年期の健全な心
		11月18日 (2校時)	生命の誕生	・受性のしくみ ・胎児の成長

4. 事前、事後の指導

- (1) 事前＝性に関する不安や悩み、異性への関心等について、意識調査をした。
- (2) 事後＝授業後感想文やアンケートを書かせる。必要に応じての個別相談。

(1) 1年

① 主題名

- 第1時 「異性に対する理解」
- 第2時 「男女のちがい」

② 学級の実態

男女とも明るい子が多く、学級の雰囲気は和やかであるが、その反面、おしゃべりが多く授業の規律が守れないことが多い。

心身の成長に男女差、個人差があり女子のほとんどに性の目覚めが見られるが、男子は幼稚な生徒が多く、言動が粗雑で女子に嫌われるところもある。

異性に対する思いやりの心がまだ育っていない。

③ 本時の目標

- 第1時 異性の特性をそれぞれの立場から理解し合う能力と態度を身につけさせる。
- 第2時 第二性徴の発現を理解させる。

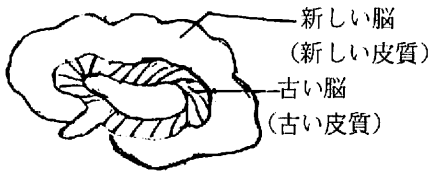
④ 授業の展開

は じ め 5 分	<ul style="list-style-type: none"> ◦ 出欠確認 ◦ 学習のねらいと1時間の見通しを確認する。 男子の良さ、女子の良さ 男女の協力によって得られる喜びは何かを発表させる。 	準 備	<ul style="list-style-type: none"> ◦ パネル(1) ◦ 表(2) ◦ パネル(3) ◦ 表(4) ◦ ボード(5)
10 分 な か	学 習 活 動	指 導	
	<ul style="list-style-type: none"> ◦ ねらい 男女の特性をそれぞれの立場から理解し 合う能力や態度を身につける。 1. 人間の一生について 人生80年として現在の自分はどんな時期 にあるかを知る。 	<p>大人への準備期として大切な時期であることを知らせる。 表をもとに気付かせる。</p> <p>20歳が法律上の成人です。大人になります。君達は今、12歳ですが、これから8年間で大人になるための準備をします。</p>	

5分

2. 脳のはたらきについて理解する。

- ・古い脳とは？
- ・新しい脳とは？



※古い脳は本能を支配し、新しい脳は学習によって発達することを知る。

10分

3. 異性に対する興味関心について理解する。

- ・異性に興味があるか。
 - ・異性の友人を持ちたいと思うか。
 - ・個人差があるのはどうしてか。
- それぞれの意見を出し合ってみる。

15分

4. 異性とのかかわり方について理解する。

- ・どんなところが男女として違うところなのか。
- 考えかた、行動の仕方、過ごしかた
- ・それぞれの良さは何か。
- どのように語り合ったり行動し合えばよいか。
- どのように認め合うか。

5. 異性に対する理解を知る

- ・男子の立場と特性は何か。
 - ・女子の特性は何か。
 - ・相互理解の心の配慮はどうあるべきか。
- (グループでまとめて発表する)

まとめ
5分

- ・学習のねらいが理解されたかを確認する。
- 性とは何であったか。
- 脳の働きは
- 異性に対する思いやりの心と理解は
- ・次のねらいの確認

・脳について具体的に説明する。

古い脳は人間に生まれつき備わっている本能を司り「たくましく生きるため」の脳。

新しい脳は学習や経験で環境にうまく適応していく「うまく生きるため」の脳。

・実態調査をもとにして解説し意見を求める。

1. 異性に対して興味関心がありますか。

項目	非常にある	普通	なし
男子	10.3	68.4	21.1
女子		84.2	15.8
%	10 20 30 40 50 60 70 80 90 100		

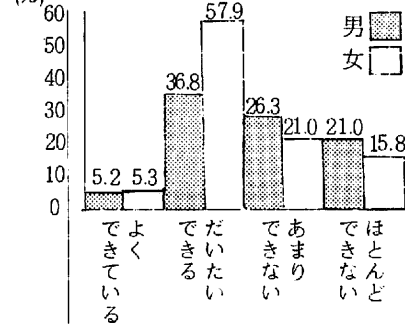
2. 異性に対していたわりや尊重をしていますか。

%	はい	50	いいえ	100
男子	26.3		73.8	
女子	15.8		84.2	

・周囲の体験を通して意見をまとめさせる。

・男子、女子の特徴をまとめてグループで発表させる。

(%) 男女の協力ができていますか。



・異性に対する思いやりやいたわりの心は理解されているかを見抜く。

・必要に応じて助言したり説明を加える。

10
分
な
か

2. 異性への興味関心や、友人関係での悩みについて理解する。
- ・体験したことや、聞いたことをグループでまとめてみる。
 - ・悩みやすい原因は何であるか話し合う。

3. 男女の心理について理解する。

- ・男子の長所
- ・女子の長所
- ・男女の考え方や違い

4. 好ましい男女交際について

- ・友情とは何か
- ・恋愛とは何か
- ・好ましい異性のタイプは
- ・好ましくない異性のタイプは

(テキスト P-44) =すばらしい成長

※意見の中から説明を受ける

5. よりよい人間関係を育てるためには、どうするべきか

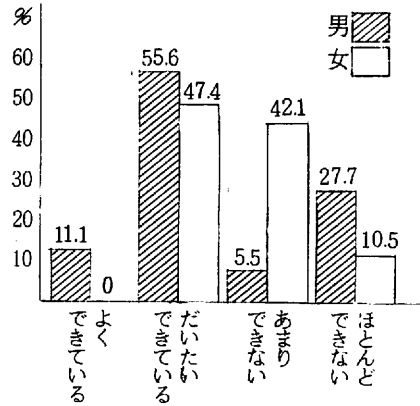
- ・男女間のあり方
- ・同性間のあり方

ま
と
め
5
分

- ・中学生の心理や交際の仕方について理解されたか確認する。
(思春期の特徴としてわかったこと、気づいたこと)
- ・感想
- ・次時の予告

・心の変化を具体的に説明する。

3. 男女の協力ができていますか？



- ・中学生時期にどんな悩みが多く表われるか引き出す。

心の成長
(思春期)

- ・特別な人を好きになる。
- ・エッチなことを考える。
- ・わざといやなことをいう。
- ・ \uparrow を書きたくなる。
- ・人のうわさ話をしたがる。
- ・みんなに目立つことをする。
- ・はだかに興味を持つ。
- ・その他

- ・男女の心の変化と違いを説明する。
- ・考え方はどうか、意見を求める。
- ・友情と恋愛の違いを例をあげて説明する。

- ・男女交際のすばらしさと、正しいあり方を話し合わせる。

- ・男女交際について助言する。
- ・社会で生きていくためには人間関係の大切さを助言する

「異性間のつきあい」
「同性間のつきあい」

(3) 3年

① 主題名

- 第1時「青年期の心」
- 第2時「生命の誕生」

② 学級の実態

男子は明るくおしゃべりであり、授業中も注意されることが多い。女子はおとなしく少々積極性に欠ける面もみられるが、学級全体としての雰囲気はまとまりがありよいように思われる。

③ 本時の目標

- 第1時 男女の人格形成を通して正しい性の欲求や感情を身につけさせる。
- 第2時 性と生命について正しい認識を持たせる。

④ 授業の展開 <第1時>

はじめ 5分	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の学習 ・出席確認 ・アンケート調査結果により自分を見つめる。 	準 備	<ul style="list-style-type: none"> ・表 (1) ・パネル (2) ・パネル (3) ・パネル (4) ・テキスト 																												
	学 習 活 動		指 導																												
10分	<p>1. 男女の欲求について (人間の欲求)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一次的欲求 生命 (個体維持) と種族保存のための欲求について ・二次的欲求 生育の過程でつくられる自我の欲求、社会的欲求。 ・欲求と性行動 性的欲求が色々な行動や態度をうみ出していることに気づく。 		<ul style="list-style-type: none"> ・異性への関心や学級の実態から、第2次性徴、精神の発達など不安や悩みにふれさせる。 ・欲求と行動のかかわりを理解させる。 「保護分野の学習を思い出させる」 ・男女が各自の性に誇りと健全な異性観を持ち、自分を育てることの大切さを理解させる。 <p>パネル(2)</p> <p>1. 異性に対し興味、関心がありますか。</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>非常にある</th> <th>普通</th> <th>なし</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>男子</td> <td>9.5%</td> <td>66.7%</td> <td>23.8%</td> </tr> <tr> <td>女子</td> <td>5%</td> <td>75%</td> <td>20%</td> </tr> <tr> <td>%</td> <td>10</td> <td>20 30 40 50 60 70 80 90</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>2. 異性に対していたわりや尊重をしていますか。</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>はい</th> <th>いいえ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>男子</td> <td>52.4%</td> <td>47.6%</td> </tr> <tr> <td>女子</td> <td>85%</td> <td>15%</td> </tr> <tr> <td>%</td> <td>10 20 30 40 50 60 70 80 90</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	項目	非常にある	普通	なし	男子	9.5%	66.7%	23.8%	女子	5%	75%	20%	%	10	20 30 40 50 60 70 80 90		項目	はい	いいえ	男子	52.4%	47.6%	女子	85%	15%	%	10 20 30 40 50 60 70 80 90	
項目	非常にある	普通	なし																												
男子	9.5%	66.7%	23.8%																												
女子	5%	75%	20%																												
%	10	20 30 40 50 60 70 80 90																													
項目	はい	いいえ																													
男子	52.4%	47.6%																													
女子	85%	15%																													
%	10 20 30 40 50 60 70 80 90																														

10
分
な
か

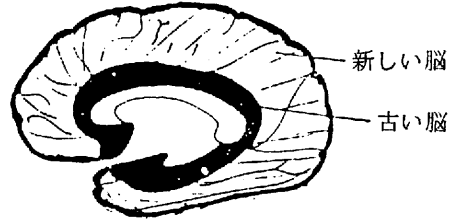
2 人間の性の欲求特質

- 人間の性の欲求と他の動物と違う特質があることを知る。
- 性をかいた楽の対象として行動することの意味を知る。
- 大脳皮質の発達によって性的欲求を自己意志で統御抑制できる。
(理性が働くことを知る)

- 人間の欲求は学習によって理性的にコントロールできることに気づかせる。
- 人間の脳と動物の脳との違いを知らせる。

パネル(3)

いろいろな動物の脳



人間



ウサギ

ネコ

サル

※本能（古い脳）の心は、ネコやウサギと同じように自然の知恵、生物として生きていくのに大切。

※新しい脳の心は学習によって内容が作られるから、人間関係を大切に正しい知恵を身につけておく。

- テキスト P-35
- 人間は欲求を抑えたり刺激をさけたりする能力のあることに気づかせる。
- 古い脳（本脳）、新しい脳について理解させる。テキスト P-32
- ホルノ雑誌などを例に気づかせる。
- 性行動をおこすしくみ
- 視覚的刺激の場合
- 接触による刺激の場合
- 欲求不満がもたらす性行動について気づかせる。

3. 男女の違い

- 性欲の現れ方には男女の差異のあることを知る。
- 性刺激に対する反応に男女の差異のあることを知る。

10
分

10
分

- 欲求の解消
性的欲求を統御することに気づく。

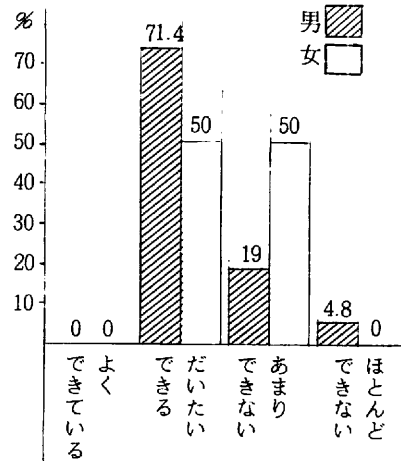
4. 中学生期の生活

- 心身ともに大切な（成長期にある）中学生期であり、男女が理解しあい思春期を生きぬくにはどのように心がければよいか話し合う。

- 性欲の統御は容易ではないが、人間は教養・理性によって自制心が働き自分の欲求をコントロールすることを理解させる。

パネル(4)

3. 男女の協力ができていますか。



- 普段の生活の仕方について心がけるべき事を考えさせ価値ある人間関係を築くことができるように助言する。

ま
と
め
5
分

- 本時のねらいが理解されたか。
- 人間の欲求男女の欲求の違いなど理解できたか。
- 感想
- 次時のねらいについて確認する。

はじめ 5分	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の学習のねらいと見通しをもつ ・1時間の授業のながれについて ・出席確認 	準 備	<ul style="list-style-type: none"> ・表 ・ビデオ
学 習 活 動		指 導	
10分 なか 25分	<ul style="list-style-type: none"> ・前時の復習をする 性の尊厳と人間尊重について ・体の発達現象に関する言葉の意味を理解させる。 精通現象 例 月経のしくみ 自慰(マスターベーション) 1. 生命の誕生について理解を深める。 <ul style="list-style-type: none"> ・受精のしくみについて。 ・出産の厳しさと、喜びについて。 2. ビデオ鑑賞 <ul style="list-style-type: none"> ・生命の誕生について理解する。 ・受精の神秘→受精卵の着床 ・妊娠・出産→胎児の成長 	<ul style="list-style-type: none"> ・理性と自制心の働きについて理解させる。 ・実態調査を通して言葉の理解の大切さを知らせる。 ・自分の出生時の様子について、親の子に対する愛情や期待について考えさせる。 ・母性の役割、異性の責任といたわりの大切さについてしっかり強調する。 ・生命創造の科学 ・生命誕生の神秘さを理解させる。 ・不案や疑問のある生徒は個別指導をする。 ・ビデオの見方、考え方を理解させる。 	
まとめ 10分	<ul style="list-style-type: none"> ・生命の尊さについて理解できたか (人間の愛の大切さ) ・感想 ・次時の予告 		

5. 感想

(1) 生徒の感想

① 1年生

(A)	(B)	(C)	(D)
なるほどなあと思った。ちょっとエッチだけれども、大事なことであった。	大人になることは、いやらしいことではなく、大切なことなんだなと思いました。	きょうは、ビデオをみました。これで三時間目だけれどその二回はビデオを見て大人への成長のことがよくわかった。	私は、このビデオをみてはじめて思ったことは小学生でも「エロホン」をみるのかなーと思いました。前の授業でも、思春期になるとはだかにきょうみと関心とかあったけれど、やっぱりこういうのは、いやらしいなと思いました。やっぱり何も性のことはしらないので、成長はしたくないので、やっぱり性教育は授業としてやったほうがいいなーと思いました。

② 2年生

◦今日のねらいは理解できましたか。

- ・理解できた 24人 (68.6%)
- ・だいたい 9人 (25.7%)
- ・わからない 2人 (5.7%)

◦今日の授業で感動したこと。

- ・感動した。 26人 (74.3%)
- ・感動しなかった。 9人 (25.7%)
- 感動した。と答えた内容
- ・男の体の発達があった。
- ・新しい脳、古い脳の構造について
- ・思春期は心も変わることがわかった。
- ・1次性徴、2次性徴のあることがわかった。授業がもっとあってよい。
- ・思春期の体の変化、異性に対する考え等
- ・男女交際や人間の一生について

◦今日の学習をどのように受け取りましたか。

- ・真剣にとりくむことができた。 10人(28.6%)
- ・はづかしかったが大切と思っ聞いた。 22人(62.9%)
- ・はづかしくていやだった。 2人(5.7%)
- ・このような授業は必要ないと思った。 1人(2.9%)

◦今日の授業で学んだことを今後どう生かしたらよいか。

- ・学んだことを今後、いかしていきたい。
- ・自分の悪かったことを、これから直していきたい。
- ・大人になったら役に立つと思う。
- ・これから男子とつき合っていく時に、役に立てたい。
- ・いろいろわかった、自分の悪い所を少しづつ直していきたい。
- ・将来役に立つようにしたい。
- ・わからない、男子8人、女子2人。

(A)

将来、子どもを生む私達女生徒にとつて、とても大切なことを学んだと思う。それは男生徒も一緒に、女生徒をひやかしたりできないようになると思う。将来、自分の奥さんが子どもを生むのだから。

(B)

新しい生命のできかたや様子をビデオを見てよくわかった。母親の気持ちもよくわかったような気がする。

(C)

親は、こんなにも苦勞して子供をうむことがわかった。
三億分の精子から、いくつものかんもんをのりこえて、たどりつたのが、自分だと思うと、あと
の精子の分までも、がんばらなければならぬと思った。

(D)

小さな命をささがるのに、こんなにたくさんの必要があるとは思わなかった。それと、先生が、子供を産むときは、苦しいとか、死ぬかと思つたとかいろいろ言つたのでこわくなつた。
けど、苦しい思いをしても産んでみたいと思つた。

(E)

小さい頃、ゆうこはどこから生まれたのって聞いたこともあつたけど、ひろつてきたからわからんさー、て言われてたので、子供心にショックがあつた。
今日のビデオを見て、命の大切を知つた気がした。自分がこま
で健康に育つたのは親の愛情だと思ふ。親に感謝。
女は男より大変だー

(F)

先生の話やビデオを見る前は、こどもは好きだけど、うむならなにかいい方法(いたくない)がせつたいいと思つていたけど、今日で、いたくてもいいから自分の力で生命をうみたいと思つた。

(2) 教師の感想（アンケート）

- ① 指導計画の資料として適当であったか。
 - 資料は見やすく、わかりやすく、使いやすく良かった。
- ② 1時間の内容として指導資料はどうだったか。
 - 1時間目に「脳の構造」を使ったが、2時の第二次性徴に使う方がよかった。（1年）
 - 1時間目は内容が消化できなかった。（2年） ◦ 適当だった。（3年）
- ③ 授業展開の中の系列化や内容に問題はなかったか。
 - 指導計画がよく出来ていてよかった。（1年）
 - 自分なりに流れを工夫した。（2年） ◦ 担任の個性を生かして指導した。（3年）
- ④ 指導内容は生徒の実態に即して、適当であったか。
 - ビデオ ・ 適当、内容も良かった。（1, 2年）
 - 良かったがもっと深みのある妊娠、出産場面があった方が良かった。（3年）
 - パネル ・ 適当、大変よかった、使いやすかった。
 - その他 ・ 副読本があり、授業を進めやすかった。続きを勉強したいという生徒もいた。
- ⑤ 授業を实践しての感想
 - これまで学級の中で男子が女子に対して悪口を言ったり、他意なく乱暴を做ったり、粗雑な言動が多くみられたが、授業後は互いに男女の違いがわかり、又意識したのか心なしか、そういう言助が目につかなくなった。
 - 知識として理解することができて良かった。又男女のタイプの授業成果があった。
 - 授業後気軽に話ができるようになっていいる。他意ない言葉を出す生徒もいるが、それを指摘して指導できる雰囲気になってやってよかった。
 - 養護教諭の指導案で、担任の個性をいかした指導ができた。
 - 今まで性教育をしたと思ったが、科学的根拠に基づいた資料作成がむずかしく又段階的資料でなければ、子供達の理解もむずかしいのでとりくめなかった。養護教諭の資料でやりやすかった。こんな場をつくってくれてありがとう。
 - 初めての授業で最初は不安だったがやってよかった。教師自身も高まって、普段の授業にも生かしている。今後もやってみたい。
 - 女教師として（母親）の本能がでて学級の生徒とのつながりができた。
 - 今の子供達には性教育がぜひ必要である。「子供の中にはあやふやの知識を持っているながら、性に対する高い関心をもっている子も少なくない。正しい知識を教えることが大切である。
 - 生徒が興味を持ち、気待している通りいっぺんの授業「生徒は関心の差がある」では困る。
 - 日常の学級の雰囲気の中においても、指導が行えるようにすべきである。
 - 一方的な指導に終っているのので、生徒間のディスカッションの中からお互いに学習しあえる場がほしかった。

IX 研究の成果と今後の課題

1. 研究の成果

養護教諭の常時執務で、個別・随時指導を実施しながら、性教育の系統的な指導の重要性を常に感じていた。しかし、誰れかがやるだろうと思い、積極的にはなれなかった。今回、教育研究所での研究の機会を得ることによって、研究期間中「性教育についての参考資料や月刊誌新聞の切り抜き等」をみながら益々学校における性教育の重要性と養護教諭の果たす役割の大きいことを痛感した。

中学校における性教育を考える場合、当然である学校教育目標を達成するような適切な指導内容、指導計画、学級指導への位置づけ等を考慮しなければならない。学校においては、養護教諭を中心に性教育の資料を収集し学級担任に提供できるようにしたい。又学級担任と養護教諭がタイアップし、性教育を充実させ、生徒達が生涯にわたって生きがいをもち、幸せな生活ができるよう、その基礎、基本をしっかり身につけさせる努力をしていきたいと思ひます。

そこで、学級指導における授業実践を通して、次のような成果をみることができました。

- (1) 理論研究を進めることによって、性教育は学校教育において、重要な分野であることを知った。
- (2) 性教育に関する視聴覚教材（ビデオ）資料等を提供することによって、学級担任をはじめ全職員や父母の意識が高まった。
- (3) 養護教諭が、授業の展開の中で、専門的分野を受け持ち授業の実践を試みた。
- (4) 生徒の「性」に対する正しい認識を、深めることができた。

2. 今後の課題

- (1) 性教育を組織的に学級活動の中に位置づけ、指導の充実を図るように働きかける。
- (2) 性的成熟の早期化に伴い、個人差に応じた指導を行ない、不安や悩みを解消させる指導の手立てをしていきたい。

おわりに

4カ月間多く文献にふれ、多くの先生方にふれ、多くの知識を得ることができ有意義でした。その成果を現場の教育活動に生かすようにしたいと思います。長期研修の機会を与えて下さった、浦添市教育委員会並びに、本校の友寄賢吉校長に厚くお礼を申し上げます。更に直接ご指導ご助言をいただきました東恩納吉一指導主事、大城昌周教研所主査、本校の全職員、他諸先生方に感謝申し上げます。

<引用。参考文献、資料>

- | | | | |
|--------------------------|---------------|-----|-----|
| ◦性教育マニュアル、田能村 思川、大成出版 | ◦異性とのかかわり | 20分 | VTR |
| ◦性教育指導事典 平安信義 ぎょうせい | ◦男子のからだ | 20分 | 〃 |
| ◦これからの性教育上下 黒川、福本 東山書房 | ◦女子のからだ | 20分 | 〃 |
| ◦性教育指導資料（中学校）田能村 学校図書 | ◦子供たちへ | 55分 | 〃 |
| ◦性教育の考え方進め方 〃 〃 | ◦心のふしぎ | 19分 | 〃 |
| ◦性教育指導要項、解説書 日本性協 | ◦女の子男の子 | 16分 | 〃 |
| ◦養護教諭実務講座(5) 田能村、田崎、第一法規 | ◦生命の誕生 | 25分 | 〃 |
| ◦「性に関する教育」指導の手引き、富山市教委 | ◦生命の創告 | 18分 | 映写 |
| ◦その他 | ◦思春期の男女交際のために | 21分 | 〃 |